2026 年度 JAC セミナー

●テーマ「イノベーション、信頼、持続可能性：認定の力」

日本認定機関協議会（JAC）では、広報活動の一環として、JAC セミナーを開催いたします。

・ JAC メンバーの加盟しているグローバル認定協力機構（Global ACI）は、「認定」の重要性を、より多くの方々に知ってもらう取り組みとして 6 月 9 日を「世界認定推進の日」(World Accreditation Day)と定め、毎年様々な認定に関わる社会的テーマに沿った広報活動を展開しています。今年のテーマは **“イノベーション、信頼、持続可能性：認定の力”（Innovation, Trust and Sustainability: The Power of Accreditation）**です。

本年度のセミナープログラムもこれに沿った、**イノベーション、信頼、持続可能性：認定の力**をテーマに、ご紹介いたします。

皆様のご参加をお待ちしています。

- セミナープログラム：(本頁下よりご覧ください)
- 日　時： 令和8年 **12**月 **18**日 (金)　13：00～17：00
- 形　態：オンラインセミナー
- 定　員： オンライン定員1,000名　**※参加費無料**
- お申込み： JACホームページ セミナー受付ページ
- 主　催： 日本認定機関協議会 (JAC*1)

  *1 詳しくは、最終頁「JACとは」をご覧ください。
- お問合せ先： JAC事務局（E-mail: jac@nite.go.jp）

セミナープログラム

13:00～13:05	開会挨拶：	一般社団法人情報マネジメントシステム　認定センター（ISMS-AC） 理事・事務局長　富永　典子　様
13:05～13:15	来賓挨拶：	経済産業省　イノベーション・環境局 基準認証政策課　宮本　賢一　様
13:15～13:35 （20分）	講演者：	ISO/CASCO国内委員会　委員長　浅田　純男　様
	演　題：	変化する社会・市場と適合性評価　～新たな時代を支える「信頼」の仕組み～
	概　要：	社会や市場が大きく変化する中、サステナビリティ、サプライチェーン、サイバーセキュリティなど、企業や社会が信頼を必要とする対象や領域は広がっています。 適合性評価は、こうした変化の中で、製品、サービス、プロセス、組織、情報などが求められる要求を満たしていることを実証し、社会や市場に「信頼」を付加する仕組みでもあります。 本講演では、ISO/IEC 17000 の機能的アプローチとCASCO 規格群を踏まえ、社会・市場の変化とともに適合性評価に求められる役割を俯瞰します。さらに、新たな領域において必要とされる信頼をどのように適合性評価の仕組みとして具体化し、認定や評価結果の活用を通じて社会に実装していくかを考えます。
13:35～14:05 （30分）	講演者：	株式会社ABEJA　専門役員AIガバナンス担当　弁護士　古川　直裕　様
	演　題：	AIガバナンスとAIMS
	概　要：	AIの利用の促進と高度化に伴いAIがもたらすリスクへの管理が社会においても企業においても重要な課題となっています。その方法として組織的ガバナンスによるリスク管理を行うAIガバナンスが注目されています。そして、その規格としてAIMSは中心的な存在となっています。実際にAIMSを取得した企業の主担当者として、AIMS取得の経緯、取得時の課題などを共有いたします。
14:05～14:35 （30分）	講演者：	一般社団法人日本ガス協会　企画部国際基準認証　グループマネジャー 上田　智一　様
	演　題：	「クリーンガス証書制度」によるカーボンニュートラルなガスの認証について
	概　要：	都市ガスは化石燃料である天然ガスを主な原料としており、現在カーボンニュートラル化に向け、e-メタンやバイオメタンの導入に向けた取り組みを進めています。 燃焼時に大気中のCO2を増やさないとみなせるe-メタンやバイオメタンを希望する日本全国のお客さまに届けるため、その価値を認証・証書化し全国へ移転可能とする「クリーンガス証書制度」を運用しており、本制度についてご紹介します。
14:35～14:45 （10分）	休憩	
14:45～15:15 （30分）	講演者：	一般社団法人日本最適化栄養食協会　事務局長　前島　秀樹　様
	演　題：	日本最適化栄養食協会の認証事業と普及について
	概　要：	日本最適化栄養食協会は主要な栄養素がバランスよく適切に調整された最適化栄養食の普及を図り、人々のウェルビーイングに資することを目的とし2023年７月より活動を開始しました。主な事業内容は最適化栄養食及びその評価に関する規格化、栄養設計基準の登録と製品認証、および普及活動です。2026年３月末時点で累計15企業から認証製品が販売されており、出荷総数は約5,400万食に拡大しました。 講演では主に当協会の認証制度とその普及についてご説明させていただきます。
15:15～15:45 （30分）	講演者：	日本海事検定キューエイ株式会社　　審査部　審査グループ グループ長　森本 浩明　様
	演　題：	航空燃料のサステナビリティ認証

	概　要：	本講演では、持続可能な航空燃料（SAF）の普及と航空分野の脱炭素化に向けた「ClassNK SCS認証」について解説します。国際民間航空機関（ICAO）が定めるCORSIAの持続可能性基準や認証制度の概要、原料調達から製造に至るサプライチェーンでの審査のポイントを紹介します。 また、認証機関としての取組みや制度運用上の課題を共有し、今後のSAF普及と持続可能な航空産業の実現に向けた展望を考えます。
15:45～16:15 （30分）	講演者：	株式会社e・オータマ　EMC事業部　部長　神宮　洋賀　様
	演　題：	株式会社e・オータマにおける認定の活用
	概　要：	本講演では、第三者試験所の立場から、EMC試験における試験所の役割と、ISO/IEC 17025に基づく試験所認定の活用について紹介します。EMC試験に求められる専門設備や技術的能力を踏まえ、認定によって評価される能力と認定範囲の考え方を説明します。また、試験能力の客観的な証明、試験結果への信頼性の確保、国際的な相互承認、試験品質の継続的な維持など、第三者試験所が認定を取得・活用する意義について紹介します。
16:15～16:55 （40分）	講演者：	日本認定機関協議会（JAC）
	演　題：	JACからの情報提供
	概　要：	JACメンバー機関より、最近の動向やトピックをご紹介いたします。
16:55～17:00	閉会挨拶	株式会社電磁環境試験所認定センター（VLAC）　業務管理部・部長　渡　義徳　様

＊ 上記プログラムの講演題目･内容は変更することがあります。予めご了承ください。

日本認定機関協議会(JAC)とは

日本認定機関協議会(Japan Accreditation Council: JAC)は、我が国全体として、認定機関の信頼性と技術レベルの向上を図るとともに、日本の適合性評価制度全体の信頼性・透明性の向上に寄与することを目的に、認定制度の啓発・普及活動のために必要な活動を行っています。現在は以下の 5 機関で構成されています。

独立行政法人製品評価技術基盤機構
適合性評価推進センター認定センター
（IAJapan）
https://www.nite.go.jp/iajapan/

一般社団法人情報マネジメントシステム
認定センター（ISMS-AC）
https://isms.jp/

公益財団法人日本適合性認定協会
（JAB）
https://www.jab.or.jp/

独立行政法人農林水産消費安全技術センター
認定センター（JASaff）
http://www.famic.go.jp/jasaff/

株式会社電磁環境試験所認定センター
（VLAC）
https://www.vlac.co.jp/